



2021年9月29日

各 位

会社名 株式会社 大 和  
 代表者名 取締役社長 宮 二 朗  
 (コード番号：8247 東証第二部)  
 問合せ先 経営戦略本部  
 財務部長 長嶋 和生  
 (TEL. 076-220-1100)

## 第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2021年4月12日に公表いたしました、2022年2月期第2四半期累計期間(2021年3月1日～2021年8月31日)及び2022年2月期通期(2021年3月1日～2022年2月28日)の業績予想を、下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想数値の修正

(1) 2022年2月期 第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正(2021年3月1日～2021年8月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	19,300	50	30	30	5円35銭
今回修正予想(B)	17,500	△340	△250	△215	△38円32銭
増減額(B-A)	△1,800	△390	△280	△245	-
増減率(%)	△9.3	-	-	-	-
(ご参考) 前第2四半期実績 (2021年2月期第2四半期)	14,122	△699	△516	△320	△57円07銭

(2) 2022年2月期 通期 連結業績予想数値の修正(2021年3月1日～2022年2月28日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	40,000	250	100	50	8円91銭
今回修正予想(B)	37,000	△600	△550	△600	△106円94銭
増減額(B-A)	△3,000	△850	△650	△650	-
増減率(%)	△7.5	-	-	-	-
(ご参考) 前 期 実 績 (2021年2月期)	33,930	△845	△624	△412	△73円59銭

## 2. 個別業績予想数値の修正

(1) 2022年2月期 第2四半期累計期間 個別業績予想数値の修正 (2021年3月1日～2021年8月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	18,500	80	30	30	5円35銭
今回修正予想 (B)	16,850	△125	△170	△100	△17円82銭
増減額 (B - A)	△1,650	△205	△200	△130	-
増減率 (%)	△8.9	-	-	-	-
(ご参考) 前第2四半期実績 (2021年2月期第2四半期)	13,672	△321	△266	△266	△47円45銭

(2) 2022年2月期 通期 個別業績予想数値の修正 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	38,000	250	100	50	8円91銭
今回修正予想 (B)	35,500	△200	△350	△400	△71円29銭
増減額 (B - A)	△2,500	△450	△450	△450	-
増減率 (%)	△6.6	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (2021年2月期)	32,654	△202	△269	△258	△46円04銭

## 3. 修正の理由

(連結)

2021年4月12日に公表いたしました2022年2月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が当上半期中には一定の落ち着きを見せ、その後徐々に収束に向かうという前提のもと算定しておりました。しかしながら、全国的な感染再拡大に伴い、主要都市を対象にした「緊急事態宣言」の発出に加え、当地（石川・富山県）におきましても「まん延防止等重点措置」が適用される等、主力の百貨店業はもとよりホテル業におきましても、集客面を中心に引き続き厳しい事業環境を強いられました。

こうした状況により、売上高につきましては、主力の百貨店業において、感染防止対策を徹底すると同時に、新しい「商品と企画」を機軸とした魅力ある売場づくりに取り組んで参りましたが、コロナ禍の影響が想定以上となり、当初予想を下回る見込みとなりました。また、ホテル業においても、宿泊および宴会需要の落ち込みが続きましたことから、連結売上高は当初予想を下回る見込みとなりました。

また、利益面につきましても、企業グループ全体を通じ、宣伝費の見直し等、販売管理費の削減に努めましたが、売上高の減少が大きく響き、当初予想を下回る見込みとなりました。

尚、通期業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績予想値を反映するとともに、下半期については、ワクチン接種普及率向上に伴い感染拡大が一定程度抑えられるとの期待感はあるものの、事業環境は引き続き厳しい状況が続くものと想定して業績予想値を算出しております。

(個別)

個別業績予想につきましては、連結記載の百貨店業と同様の理由により、売上高及び各利益とも当初予想を下回る見込みとなりました。

(注) 業績予想に関しましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上